

地球温暖化対策中間報告書

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあつては名称及び代表者又は管理者の氏名)	多摩ニュータウン環境組合 管理者 渡辺 幸子
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都 多摩市 唐木田 二丁目1番地 1

(2) 事業所の概要

事業所の名称		多摩ニュータウン環境組合		
事業所の所在地		東京都 多摩市 唐木田 二丁目1番地 1		
業種等	事業の業種	分類番号	Q85 Q:サービス業(他に分類されないもの) 廃棄物処理業	
		産業分類名	廃棄物処理業	
	事業所の種類	部門分類	<input checked="" type="radio"/> 産業 <input type="radio"/> 業務	
		主たる用途	<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input checked="" type="radio"/> 廃棄物処理施設	
			<input type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設 <input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設	
	その他	()		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		一般廃棄物処理業 可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの処理 八王子市、町田市、多摩市からなる一部事務組合		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1)	テナント事業者等の名称	
		(2)	テナント事業者等の名称	
		(3)	テナント事業者等の名称	
敷地面積		35,600	m ²	
建物の延べ面積		24,380	m ²	

(3) 担当部署

計画の担当部署	名称		施設課 施設係
	連絡先	電話番号	042-374-6331
		ファクシミリ番号	042-337-5061
		電子メールアドレス	shisetsu@tama-seisokojo.or.jp
公表の担当部署	名称		総務課 総務係
	連絡先	電話番号	042-374-6331
		ファクシミリ番号	042-337-5061
		電子メールアドレス	info@tama-seisokojo.or.jp

(その2)

(4) 地球温暖化対策中間報告書の公表方法

公表期間	平成19年7月9日 ~ 平成22年3月31日		
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://www.tama-seisokojo.or.jp
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:	多摩ニュータウン環境組合 リサイクルセンター
		所在地:	多摩市 唐木田 二丁目1番地1
		閲覧可能時間:	10:00 ~ 17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:	
	<input type="checkbox"/> その他	入手方法:	

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 前年度の温室効果ガスの総排出量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
6,480						6,480

(2) 総基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの総排出量の推移 (単位:t(二酸化炭素換算))

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	6,350	6,397	6,480	/	/	/
基準排出量 比増減率	/	-1%	-2%	/	/	/

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1) 温室効果ガスの排出の量 (前年度: 18 年度)

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
6,457						6,457

イ 前年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	264.8 kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	680 MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移 単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	6,328	6,378	6,457	/	/	/
基準排出量 比増減率	/	-1%	-2%	/	/	/

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施 状況(実施の有無)	基本対策	<input checked="" type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input checked="" type="radio"/> すべて実施 <input type="radio"/> 一部実施 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input checked="" type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	145 t-CO ₂
	推計実績削減率(目標対策分)	2.2%
目標削減率		2.3%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		

(その3)

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
23						23

イ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	22	19	23			
基準排出量 比増減率		14%	-5%			

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	<input checked="" type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
-----------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する総括

当組合では、ISO14001を取得し、環境に配慮した環境負荷低減に向けた取組を積極的に推進するとともに、地球温暖化対策の取り組みを展開しています。

1. 清掃工場の省エネ対策

プラントを構成する設備機器の運転、稼働状況を検証することにより、機器の使用頻度、優先度等の見直しを行い環境負荷低減及び省エネ(節電効果)につながる対策を実施した。これにより温室効果ガス排出量の目標削減量を中間年度において達成する見込みであります。今後も更なる温室効果ガス排出の削減及び抑制のための省エネ対策等の取り組みを推進します。

2. 清掃工場のサーマルリサイクル

バイオマス発電による、使用電力の自給率の向上及び余剰電力を電力供給事業者へ送電することによる間接的なCO₂排出削減の取り組みを継続。

平成18年度の発電効率、所内使用電力の自給率及び送電電力量とも前年度と比べ、向上したことにより、間接的なCO₂排出削減の向上に寄与することとなった。

3. その他の取り組み

地域住民、及び児童、生徒に対し施設見学等を通して当組合の環境対策及び地球温暖化対策の重要性の啓発に努めた。

平成18年度は延べ2,621名に対し啓発活動を実施した。

(中間年度以降の取組方針)

多摩ニュータウン環境組合は「環境にやさしい安全で開かれた清掃工場」を経営方針に定め、今年度以降も環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の活用など省エネ、省資源対策について積極的な取り組みをしております。今後もこれまでの省エネ対策を再度点検し、さらなる省エネ・地球温暖化防止に結びつく対策を実行します。

また当組合は、一般廃棄物の処理施設であることから、焼却処理において発生した熱エネルギーを発電と場内及び隣接する公共施設の熱源に回収利用し、サーマルリサイクルに努めています。今後も発電効率の維持、向上を図る等環境負荷の低減に向けた施設の効率的な運転に努めます。

その他、環境管理委員会を中心に職員への環境に対する意識の向上の指導はもちろんのこと、地域住民及び児童、生徒に対しても施設見学等を通じて、当組合の環境対策を理解していただくとともに地球温暖化対策の重要性を認識してもらうための活動を行います。

(その4)

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

(1) 基本対策及び目標対策

対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称 も記載すること。)	対策レベル	追加 年度	計画時の 削減効果 見込量(t)	達成状況		備考
					推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	
1	吸収式冷凍機の効率維持	基本対策(運用) ▼					
2	管理基準値の設定及び計測・記録	基本対策(運用) ▼					
3	不使用変圧器の停止	基本対策(運用) ▼		8	9	0.13%	
4	単相負荷接続時の規定の作成	基本対策(運用) ▼					
5	デマンド管理に係る規定の作成	基本対策(運用) ▼					
6	昼間運転設備を夜間運転へ移行	基本対策(運用) ▼					
7	電気使用設備の管理に係る規定の作成	基本対策(運用) ▼					
8	高効率ポンプの更新	目標対策 ▼		4			
9	照度の管理に係る規定の作成	基本対策(運用) ▼					
10	定期的な計測及び記録の実施	基本対策(運用) ▼					
11	節電型ランプに交換	基本対策(運用) ▼		52	52	0.81%	
12	照明設備の保全管理に係る規定の作成	基本対策(運用) ▼					
13	定期的な保守及び点検の実施	基本対策(運用) ▼					
14	照明器具の清掃	基本対策(運用) ▼					
15	コンプレッサ-の吐出圧低減	基本対策(運用) ▼		3	3	0.04%	

(その4)

対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称 も記載すること。)	対策レベル	追加 年度	計画時の 削減効果 見込量(t)	達成状況		備考
					推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	
16	省エネファンベルトへの更新	目標対策 ▼	18	28	28	0.43%	
17	コンプレッサの系統統合	目標対策 ▼	18	117	117	1.84%	
18		▼					
19		▼					
20		▼					
21		▼					
22		▼					
23		▼					
24		▼					
25		▼					
26		▼					
27		▼					
28		▼					
29		▼					
30		▼					

合計					207	3.2%
合計(うち目標対策分)					145	2.2%

計画削減量(t)及び計画削減率(%)	211	3.3%
目標削減量(t)及び目標削減率(%)	148	2.3%

(その5)

(2) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

当清掃工場において、余熱利用の効率的な運用を行うに当たり、バイオマス発電は再生可能エネルギーとして導入を進めている。

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績
(事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
バイオマス発電	kWh	14,500,125	43,500,375	平成10年竣工、8,000KW、抽気復水タービン
	kWh			
	kWh			
計	kWh	14,500,125	43,500,375	

再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

8 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概要(導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要
テナント事業者等への還元のための措置	
廃棄物の削減	削減予定量 t 実績 t
グリーン調達	ISO14001に基づき22品目についてグリーン購入を進めている。
物流の効率化	
その他、社員の通勤における削減対策等	ノーマイカーデを設定し、意識の高揚に努めている。また、月に一度清掃工場周辺の環境美化に努めクリーンアップ大作戦とし年に一度地域住民と共同で清掃活動を行っている。

(その6)

9 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況及び目標の達成状況等(個表)

(1) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策 No	対策の名称	計画			達成状況		備考
		対策導入率等		削減効果 の見込量 (t)	導入率 等	対策完了に よる削減効 果の量(t)	
		現状	目標				
1	相乗りの励行						
2	車両更新時における低公害車への切り替え						
3	空ぶかし、急発進・急加速運転等の抑制						委託業者や搬入業者に対して入所時に説明を行い、省エネ運転の励行に努める。

(2) 自動車等に係るその他の事項

自動車の対策として、ハード面では工場内の作業車について、更新時に低公害型の車両に切替を進める。また公用車については、更新時に低燃費車への切替を進める。ソフト面についてはノーマイカーデを設定し、意識の高揚に努めている。

(その7)

10 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

事項		(達成状況)				
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他					
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m ²
	その他					
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等						